【参考】記載のポイント

５．創意工夫の内容について

①業績名　創意工夫の特徴をとらえた簡潔な表現で、「〇〇の考案」「〇〇の改良」、「〇〇の改善」のいずれかの語尾とし、商標名、商品名、会社名及び句読点等（()「」･、。）は使用しないでください。
②創意工夫の内容 〇従来の方法 ※創意工夫を行う前の従来状況や背景について、専門的でない平易な表現で説明してください。 絵や図、写真を用いることもできます。 〇問題点 ※創意工夫が必要だった問題点について、専門的でない平易な表現で説明してください。 絵や図、写真を用いることもできます。 〇改良点 ※技術的要素、創意工夫の独創性について、専門的でない平易な表現で説明してください。 絵や図、写真を用いることもできます。
③創意工夫の実績 〇生産性・品質の向上及び改善 ※改善前後の違いが分かるように数値を用いて対比し、生産工程や事務の見直し、生産性や品質の向上・改善について説明してください。 【記載例】表や図などを用いることもできます。 ・生産に要する時間を従来の 100 分から 80 分に短縮した。20 分削減できた。 ・期間（1 日、1 月、前期等）の生産数量が、10 個から 20 個に増産できた。 ・製品品質が良くなり、不良品の数が 20 個から 5 個に削減できた。　　　　など 〇創意工夫の経済性 ※創意工夫実施に要した経費、コスト削減、未利用資源活用等の経済的観点から、創意工夫の経済性を説明してください。 【記載例】表や図などを用いることもできます。 ・廃材を使用したので 0 円。 ・人、場所にかかる経費が、100 万円から 90 万円となり、10 万円削減できた。 ・生産数量増により、出荷額が 60 万円から 90 万円となり、30 万円増加した。 ・不良減により、月の廃棄額 30 万円が 20 万円となり、10 万円改善した。　　など 〇創意工夫が社内に及ぼした影響 (※他工程への応用展開の状況、社員の改善意識向上等の候補者の職域外への影響について説明してください。) 【記載例】 ・同じ方法を他の工程・事業所等に展開した。 ・職域外の社員等に良い影響を与えた。 ・改善意識を取り上げる仕組みを醸成できた。　など